

VIII 観光動態調査ルート分析

1. はじめに

● 概要

平成 24 年に行われた観光統計調査結果を、旅行者が立ち寄った県内市町村の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に集計し、それらを参考にして周遊性の特に高いルートを抽出、分析したものである。

● 調査地点

高知県内の観光地（10 地点：室戸岬、桂浜、足摺岬、高知城、龍河洞、土佐和紙工芸村、モネの庭、アンパンマンミュージアム、黒潮本陣、四万十川観光開発遊覧船乗場）でアンケート調査を実施した。

● 発地ブロック

- ・ 旅行者の居住都道府県を以下の地域ブロック単位でまとめて集計、分析を行っている。

北海道・東北	：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・新潟	：新潟県、富山県、石川県、福井県
甲信・東海	：山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
海外	：すべての海外旅行者

2. 立寄市町村

● 集計方法について

- 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した（する予定の）観光地」のうち、観光入込客統計に関する共通基準を満たした地点を、市町村地域別に集計した。

※観光入込客統計に関する共通基準

- 非日常利用が多いと判断される地点であること。
 - 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
 - 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込数5千人以上であること。
- すべての割合データ（%表記）は、小数点以下2位で四捨五入した数値を使用している。そのため、合計が100%にならない場合がある。
 - 立寄市町村は16地域に区分して集計した。

01 東洋・室戸	: 東洋町、室戸市
02 奈半利・田野等	: 奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
03 安芸・芸西	: 安芸市、芸西村
04 香南	: 香南市
05 南国・香美	: 南国市、香美市
06 本山・大豊等	: 本山町、大豊町、土佐町、大川村
07 高知	: 高知市
08 いの	: いの町
09 土佐・日高	: 土佐市、日高村
10 佐川・越知等	: 佐川町、越知町、仁淀川町
11 須崎・中土佐	: 須崎市、中土佐町
12 梶原・津野	: 梶原町、津野町
13 四万十町	: 四万十町
14 黒潮・四万十市	: 黒潮町、四万十市
15 宿毛・三原	: 宿毛市、三原村
16 土佐清水・大月	: 土佐清水市、大月町

● 立寄市町村の傾向、および特徴

回答が得られた 4,000 組の立寄市町村の延べ件数は、前年度の 9,400 件から今年度は 9,423 件と、僅かではあるが増加している。

県内 16 地域別の立寄数をみると、最も多かったのは「高知」の 3,388 件 (36.0%) で、高知県観光の中心になっている。次いで、「南国・香美」の 1,210 件 (12.8%)、「東洋・室戸」の 862 件 (9.1%)、「黒潮・四万十市」の 836 件 (8.9%)、「土佐清水・大月」の 819 件 (8.7%) と続く。この上位 5 地域で 75.5% と全体の大半を占めている。

発地ブロック別 (表 2-1-2) でみると、すべてのブロックで「高知」への立寄割合が最も多くなっているが、2 番目に多い地域は“甲信・東海”や“近畿”、“中国”、“四国”が「南国・香美」、「北海道・東北」と“関東”が「黒潮・四万十市」、「新潟・北陸」、「九州・沖縄」が「土佐清水・大月」と傾向が分かれた。

年代別 (表 2-2-2) の傾向として、全ての年代で「高知」への集中度が高くなっているが年代が上がるに従って「高知」への集中度が低くなっている。「高知」以外では 20 代から 40 代は「南国・香美」での立寄りが多く、50 代と 60 代以上は「東洋・室戸」や「土佐清水・大月」などが多くなっている。

旅行形態別 (表 2-3-2) の傾向として、「高知」以外では家族旅行と友人・知人との旅行では「南国・香美」での立寄りが目立ち、団体旅行の立寄りは「黒潮・四万十市」が多くなっている。また、団体旅行は立寄市町村に限られている。一人旅は、他の旅行形態に比べると「高知」が少なく、「東洋・室戸」と「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」への立ち寄りが多くなっている。

主な旅行目的別 (表 2-4-2) の傾向としては、大半の項目で「高知」への立ち寄りが最も多くなっている。“名所旧跡”と“祭り”は「高知」と「南国・香美」を合計した割合が 6 割を超えている。“自然見物”は「高知」の割合が若干少なく、「土佐清水・大月」や「東洋・室戸」とその周辺地域がやや多くなっている。“神仏霊場”は、「東洋・室戸」や「土佐清水・大月」が多く、「高知」の割合が旅行目的別で最も少なくなっている。“アウトドア”と“スポーツ”は「黒潮・四万十市」が最も多くなっている。また、“スポーツ”は、立寄市町村に限られる特徴が見られた。“休養”と“食べ物”は「高知」に次いで「須崎・中土佐」が多く、“買い物”は「高知」に次いで「いの」が多いという結果となった。

2-1. 発地別立寄市町村割合

(表 2-1-1) 発地別立寄市町村割合 (件) [発地ブロック別]

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
北海道・東北 (n=37)	6				5		51	2			7	1		12		10	94	1.0	2.5
関東 (n=368)	87	36	8	17	77	1	564	48			33	11	14	113	2	91	1,102	11.7	3.0
北陸・新潟 (n=32)	3	5	2		7		38				3		4	11	1	14	88	0.9	2.8
甲信・東海 (n=154)	39	3	4	5	41	2	225	9			17	4	3	35	2	39	428	4.5	2.8
近畿 (n=669)	192	62	7	36	231	8	828	53		1	78	23	22	178	9	145	1,873	19.9	2.8
中国 (n=446)	100	26	5	35	193	2	555	24		1	56	4	15	94	6	121	1,237	13.1	2.8
四国 (n=2,197)	421	465	40	156	640	18	1,027	387	2	12	355	21	87	347	25	351	4,354	46.2	2.0
九州・沖縄 (n=97)	14	2	2	1	16		100	4			8	2	2	46	2	48	247	2.6	2.5
全体 (n=4,000)	862	599	68	250	1,210	31	3,388	527	2	14	557	66	147	836	47	819	9,423	100.0	2.4

(表 2-1-2) 発地別立寄市町村割合 (%) [発地ブロック別]

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
北海道・東北 (n=37)	6.4				5.3		54.3	2.1			7.4	1.1		12.8		10.6
関東 (n=368)	7.9	3.3	0.7	1.5	7.0	0.1	51.2	4.4			3.0	1.0	1.3	10.3	0.2	8.3
北陸・新潟 (n=32)	3.4	5.7	2.3		8.0		43.2				3.4		4.5	12.5	1.1	15.9
甲信・東海 (n=154)	9.1	0.7	0.9	1.2	9.6	0.5	52.6	2.1			4.0	0.9	0.7	8.2	0.5	9.1
近畿 (n=669)	10.3	3.3	0.4	1.9	12.3	0.4	44.2	2.8		0.1	4.2	1.2	1.2	9.5	0.5	7.7
中国 (n=446)	8.1	2.1	0.4	2.8	15.6	0.2	44.9	1.9		0.1	4.5	0.3	1.2	7.6	0.5	9.8
四国 (n=2,197)	9.7	10.7	0.9	3.6	14.7	0.4	23.6	8.9	0.0	0.3	8.2	0.5	2.0	8.0	0.6	8.1
九州・沖縄 (n=97)	5.7	0.8	0.8	0.4	6.5		40.5	1.6			3.2	0.8	0.8	18.6	0.8	19.4
全体 (n=4,000)	9.1	6.4	0.7	2.7	12.8	0.3	36.0	5.6	0.0	0.1	5.9	0.7	1.6	8.9	0.5	8.7

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(表 2-1-3) 発地別立寄市町村割合 (%) [四国]

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
徳島県 (n=205)	17.7	7.1	0.8	2.6	15.7	1.0	36.0	1.6		0.2	4.3	0.4	1.2	5.3	0.8	5.1
香川県 (n=383)	6.6	5.3	0.5	5.7	20.5	0.5	35.6	3.4	0.1	0.1	6.9	0.5	1.5	5.9	0.3	6.8
愛媛県 (n=478)	5.5	4.2	0.5	3.5	15.5	0.2	29.8	9.0		0.7	7.2	0.9	1.9	8.7	1.3	11.1
高知県 (n=1,131)	11.5	17.9	1.4	2.9	11.3	0.4	11.1	13.3	0.1	0.1	10.3	0.3	2.5	9.2	0.2	7.7
四国 (n=2,197)	9.7	10.7	3.0	3.6	14.7	0.4	23.6	8.9		0.3	8.2	0.5	2.0	8.0	0.6	8.1

・立寄観光地の延べ件数

旅行者が立寄った観光地は合計で 9,423 件となっている。その内訳を発地ブロック別にみると、四国が延べ 4,354 件 (46.2%) と最も多く、近畿が 1,873 件 (19.9%)、中国 1,237 件 (13.1%)、関東が 1,102 件 (11.7%) と続いている。

・上位を占めた立寄観光地の市町村

旅行者が立寄った観光地を市町村別でみると、「高知」が 3,388 件 (36.0%) と最も多く、次いで「南国・香美」の 1,210 件 (12.8%)、「東洋・室戸」の 862 件 (9.1%)、「黒潮・四万十市」の 836 件 (8.9%)、「土佐清水・大月」の 819 件 (8.7%) と続いている。

・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」への立寄り件数が最も多くなっている。2番目に立ち寄りが多かった市町村は、「甲信・東海」、「近畿」、「中国」、「四国」が「南国・香美」、「北海道・東北」、「関東」が「黒潮・四万十市」、「北陸・新潟」九州・沖縄が「土佐清水・大月」と発地ブロックにより傾向が分かれている。

なお、県内旅行者は「奈半利・田野等」、「いの」、「東洋・室戸」、「南国・香美」の順で割合が多くなっている (表 2-1-3)。

2-2. 年代別立寄市町村

(表 2-2-1) 年代別立寄市町村割合 (件)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
10代 (n=62)	8	7	0	4	11	2	62	6	0	0	7	1	2	9	1	12	132	1.4	2.1
20代 (n=652)	147	66	11	45	275	5	672	44	0	1	76	19	21	119	1	107	1,609	17.1	2.5
30代 (n=987)	173	107	6	83	432	7	867	107	1	5	133	14	40	195	3	166	2,339	24.8	2.4
40代 (n=788)	160	109	10	49	227	6	682	107	0	2	108	11	28	166	10	175	1,850	19.6	2.3
50代 (n=718)	179	147	16	34	136	4	565	105	1	4	118	15	21	175	12	176	1,708	18.1	2.4
60代以上 (n=793)	195	163	25	35	129	7	540	158	0	2	115	6	35	172	20	183	1,785	18.9	2.3
全体 (n=4,000)	862	599	68	250	1,210	31	3,388	527	2	14	557	66	147	836	47	819	9,423	100.0	2.4

(表 2-2-2) 年代別立寄市町村割合 (%)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
10代 (n=62)	6.1	5.3		3.0	8.3	1.5	47.0	4.5			5.3	0.8	1.5	6.8	0.8	9.1
20代 (n=652)	9.1	4.1	0.7	2.8	17.1	0.3	41.8	2.7		0.1	4.7	1.2	1.3	7.4	0.1	6.7
30代 (n=987)	7.4	4.6	0.3	3.5	18.5	0.3	37.1	4.6	0.0	0.2	5.7	0.6	1.7	8.3	0.1	7.1
40代 (n=788)	8.6	5.9	0.5	2.6	12.3	0.3	36.9	5.8		0.1	5.8	0.6	1.5	9.0	0.5	9.5
50代 (n=718)	10.5	8.6	0.9	2.0	8.0	0.2	33.1	6.1	0.1	0.2	6.9	0.9	1.2	10.2	0.7	10.3
60代以上 (n=793)	10.9	9.1	1.4	2.0	7.2	0.4	30.3	8.9		0.1	6.4	0.3	2.0	9.6	1.1	10.3
全体 (n=4,000)	9.1	6.4	0.7	2.7	12.8	0.3	36.0	5.6	0.0	0.1	5.9	0.7	1.6	8.9	0.5	8.7

※ **白抜き** は年代で1位、**太字** は同2位

・年代別にみた立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地の延べ件数をみると、30代の旅行者が987組で2,339件と最も多くなっている。次いで40代が788組で1,850件、60代以上が793組で1,785件、50代が718組で1,708件、20代が652組で1,609件、10代が62組で132件となっている。

平均立寄数は20代が2.5件で最も多く、次いで30代と50代が2.4件、40代と60代以上が2.3件、10代が2.1件となっている。

・年代による立寄観光地の傾向

- 10代：「高知」の47.0%が年代別で最も多い割合となっている。その一方で「黒潮・四万十市」、「東洋・室戸」は年代別で最も少なくなっている。
- 20代：「高知」が41.8%、「南国・香美」は17.1%と、共に年代別で2番目に多くなっているが、「いの」、「土佐清水・大月」、「奈半利・田野」は年代別で最も少なくなっている。
- 30代：「高知」について多かった「南国・香美」は、18.5%と全体平均を上回り、年代別で最も多くなっている。
- 40代：「高知」と「南国・香美」でほぼ半数を占めている。
- 50代・60代以上：「高知」や「南国・香美」、「香南」などで全体平均を下回っている一方で、「東洋・室戸」や「奈半利・田野等」の県東部、さらに「須崎・中土佐」や「土佐清水・大月」の県西部、「いの」で全体平均を上回っている。また、50代は「黒潮・四万十市」と「土佐清水・大月」が、共に年代別で最も多くなっている。

2-3. 旅行形態別立寄市町村

(表 2-3-1) 旅行形態別立寄市町村割合 (件)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
家族 (n=2,563)	537	428	42	191	879	16	2,024	352	1	12	338	23	92	487	33	497	5,952	63.2	2.3
友人・知人 (n=805)	166	121	19	31	218	7	793	70	0	1	137	26	24	189	8	184	1,994	21.2	2.5
団体 (n=95)	23	9	1	5	18	0	102	11	0	0	20	4	3	25	0	21	242	2.6	2.5
その他 (n=130)	26	7	2	10	43	1	183	11	0	0	18	2	10	37	1	24	375	4.0	2.9
一人 (n=407)	110	34	4	13	52	7	286	83	1	1	44	11	18	98	5	93	860	9.1	2.1
全体 (n=4,000)	862	599	68	250	1,210	31	3,388	527	2	14	557	66	147	836	47	819	9,423	100.0	2.4

(表 2-3-2) 旅行形態別立寄市町村割合 (%)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	橋原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
家族 (n=2,563)	9.0	7.2	0.7	3.2	14.8	0.3	34.0	5.9	0.0	0.2	5.7	0.4	1.5	8.2	0.6	8.4
友人・知人 (n=805)	8.3	6.1	1.0	1.6	10.9	0.4	39.8	3.5		0.1	6.9	1.3	1.2	9.5	0.4	9.2
団体 (n=95)	9.5	3.7	0.4	2.1	7.4		42.1	4.5			8.3	1.7	1.2	10.3		8.7
その他 (n=130)	6.9	1.9	0.5	2.7	11.5	0.3	48.8	2.9			4.8	0.5	2.7	9.9	0.3	6.4
一人 (n=407)	12.8	4.0	0.5	1.5	6.0	0.8	33.3	9.7	0.1	0.1	5.1	1.3	2.1	11.4	0.6	10.8
全体 (n=4,000)	9.1	6.4	0.7	2.7	12.8	0.3	36.0	5.6	0.0	0.1	5.9	0.7	1.6	8.9	0.5	8.7

※ **白抜き** は旅行形態で1位、**太字** は同2位

・旅行形態別にみた立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地の延べ件数をみると、集計対象の多い家族旅行者が 2,563 組で 5,952 件 (平均 2.3 件) と全体の 63.2% を占めている。次いで友人・知人が 805 組で 1,994 件 (平均 2.5 件)、一人旅が 407 人で 860 件 (平均 2.1 件)、団体旅行が 95 組で 242 件 (平均 2.5 件)、その他は 130 組で 375 件 (平均 2.9 件) となっている。

・旅行形態による立寄市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多い割合を占めている。2番目に多かった市町村は、家族、友人・知人、その他が「南国・香美」、団体が「黒潮・四万十市」、一人旅が「東洋・室戸」となっている。

- 家族旅行：集計対象の 63.2% を占めており、全体平均の傾向に近くなっている。
- 友人・知人：「高知」や「須崎・中土佐」「黒潮・四万十市」などで全体平均を上回り、「いの」や「香南」が少なくなっている。
- 団体旅行：「高知」が 4 割以上を占めているが、「黒潮・四万十市」も多くなっている。
- その他：「高知」と「四万十町」が旅行形態別で最も多くなっている。
- 一人旅：「東洋・室戸」や「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」、「いの」などでも多くなっている。その反面で「南国・香美」や「高知」では全体平均を下回っている。

2-4. 旅行目的別立寄市町村

(表 2-4-1) 旅行目的別立寄市町村割合 (件)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
自然見物 (n=738)	270	271	22	52	157	3	512	48	1	2	50	17	25	190	5	239	1,864	19.8	2.5
休養 (n=325)	57	37	4	19	70	2	251	55		2	111	3	14	72		59	756	8.0	2.3
祭り (n=194)	9	1		5	49	1	333	36		1	15		3	10	1	39	503	5.3	2.6
アウトドア (n=83)	14	3	2	4	6	1	40	28			17	1	3	41	1	22	183	1.9	2.2
スポーツ (n=21)		1			3		10	2			2	1	1	14		11	45	0.5	2.1
食べ物 (n=373)	50	24	2	8	63	2	352	36		5	171	4	15	71	2	39	844	9.0	2.3
神仏霊場 (n=91)	63	8	2	1	15		28	2			3	1	30	23	28	45	249	2.6	2.7
買い物 (n=113)	2	3		2	9	1	92	45			10		6	41	3	8	222	2.4	2.0
名所旧跡 (n=1,044)	190	119	29	106	588	7	1,165	65		2	38	9	19	135	2	157	2,631	27.9	2.5
なんとなく (n=512)	103	66	3	28	136	11	244	104		2	61	22	20	138	3	118	1,059	11.2	2.1
観光・その他 (n=144)	34	11		5	27	1	90	26	1		32	6	4	31	2	40	310	3.3	2.2
帰省・仕事 (n=343)	69	53	4	20	85	2	256	79			46	2	7	67		39	729	7.7	2.1
その他 (n=19)	1	2			2		15	1			1			3		3	28	0.3	1.5
全体 (n=4,000)	862	599	68	250	1,210	31	3,388	527	2	14	557	66	147	836	47	819	9,423	100.0	2.4

(表 2-4-2) 旅行目的別立寄市町村割合 (%)

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
自然見物 (n=738)	14.5	14.5	1.2	2.8	8.4	0.2	27.5	2.6	0.1	0.1	2.7	0.9	1.3	10.2	0.3	12.8
休養 (n=325)	7.5	4.9	0.5	2.5	9.3	0.3	33.2	7.3		0.3	14.7	0.4	1.9	9.5		7.8
祭り (n=194)	1.8	0.2		1.0	9.7	0.2	66.2	7.2		0.2	3.0		0.6	2.0	0.2	7.8
アウトドア (n=83)	7.7	1.6	1.1	2.2	3.3	0.6	21.9	15.3			9.3	0.6	1.6	22.4	0.6	12.0
スポーツ (n=21)		2.2			6.7		22.2	4.4			4.4	2.2	2.2	31.1		24.4
食べ物 (n=373)	5.9	2.8	0.2	1.0	7.5	0.2	41.7	4.3		0.6	20.3	0.5	1.8	8.4	0.2	4.6
神仏霊場 (n=91)	25.3	3.2	0.8	0.4	6.0		11.2	0.8			1.2	0.4	12.1	9.2	11.2	18.1
買い物 (n=113)	0.9	1.4		0.9	4.1	0.5	41.4	20.3			4.5		2.7	18.5	1.4	3.6
名所旧跡 (n=1,044)	7.2	4.5	1.1	4.0	22.4	0.3	44.3	2.5		0.1	1.4	0.3	0.7	5.1	0.1	6.0
なんとなく (n=512)	9.7	6.2	0.3	2.6	12.8	1.0	23.0	9.8		0.2	5.8	2.1	1.9	13.0	0.3	11.1
観光・その他 (n=144)	11.0	3.6		1.6	8.7	0.3	29.0	8.4	0.3		10.3	1.9	1.3	10.0	0.7	12.9
帰省・仕事 (n=343)	9.5	7.3	0.6	2.7	11.7	0.3	35.1	10.8			6.3	0.3	1.0	9.2		5.4
その他 (n=19)	3.6	7.1			7.1		53.6	3.6			3.6			10.7		10.7
全体 (n=4,000)	9.2	6.4	0.7	2.7	12.8	0.3	36.0	5.6	0.0	0.2	5.9	0.7	1.6	8.9	0.5	8.7

※ **白抜き** は旅行目的で 1 位、**太字** は同 2 位

・旅行目的別にみた立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、“名所旧跡”が1,044組で2,631件(平均2.5件)と全体の27.9%を占めている。次いで“自然見物”が738組で1,864件(平均2.5件)、“なんとなく”が512組で1,059件(平均2.1件)、“食べ物”が373組で844件(平均2.3件)、“休養”が325組で756件(平均2.3件)、“帰省・仕事”が343組で729件(平均2.1件)などとなっている。

・旅行目的による立寄市町村の傾向

大半の旅行目的で「高知」が最も多い割合となっている、“神仏霊場”は「東洋・室戸」、「スポーツ」と“アウトドア”は「黒潮・四万十市」が最も多くなっている。2番目に多かった市町村は、“祭り”や“名所旧跡”、“帰省・仕事”は「南国・香美」、「スポーツ」と“神仏霊場”、“観光・その他”は「土佐清水・大月」、「休養」と“食べ物”は「須崎・中土佐」、「買い物」は「いの」、「アウトドア」は「高知」となっている。

- 名所旧跡：「高知」が44.3%と最も多く、「南国・香美」も22.3%と目立って多くなっている。
- 自然見物：「高知」が最も多いが、全体平均より少なく、「東洋・室戸」や「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などが全体平均を超えて多くなっている。なお、「奈半利・田野等」が旅行目的別で最も多くなっている。
- なんとなく：「高知」が最も多いが23.1%と少ないのが特徴で、県内各地を幅広く立寄っている。
- 食べ物：「須崎・中土佐」が20.3%と全体平均を大きく上回り、旅行目的別で目立って多くなっている。
- 帰省・仕事：全体平均に近く、特に目立った傾向は無かった。
- 休養：食べ物と同様に「須崎・中土佐」が全体平均に比べて多くなっている。
- 祭り：旅行目的別で「高知」が66.2%と、目立って多くなっている。
- 買い物：「いの」、「高知」、「黒潮・四万十市」の3地域が多く、合計で80.2%となっている。
- 神仏霊場：「東洋・室戸」、「四万十町」、「宿毛・三原」は旅行目的別で最も多く、「土佐清水・大月」は2番目に多くなっている。その反面で「香南」、「高知」、「いの」、「須崎・中土佐」は旅行目的別で最も少なくなっている。
- アウトドア：「高知」、「黒潮・四万十市」の2地域がそれぞれ20%を超え、次いで「いの」、「土佐清水・大月」などが多くなっている。

3. 周遊ルート分析

- 集計方法について

- ・ 平成 24 年観光統計調査で得られた、「訪問した（する予定の）観光地」データを基に、旅行者がどのような順序で県内を観光したかを周遊 7 エリアで集計し、傾向の似通ったルートを抽出している。

※周遊 7 エリア

- 東部 : 東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、安芸市、芸西村、馬路村
- 物部川 : 香南市、南国市、香美市
- 高知市 : 高知市
- 仁淀川 : いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町
- 高幡 : 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
- 幡多 : 四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町
- 嶺北 : 本山町、大豊町、土佐町、大川村

- ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで連続したデータは省略している。

※例 「高知市」 - 「高知市」 - 「東部」の場合、「高知」 - 「東部」として集計。

- ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外からは入込が少数のため、この 5 ブロックを合計し、“その他”として集計している。
- ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体および四国ブロックから除外し、単独で集計している。

● 周遊ルートの傾向、および特徴

すべての県外旅行者の周遊ルート（表 3-1-1-1）をみると、「高知市」エリアのみで観光を終える割合が 17.0%と最も多くなっている。また、上位 4 位は単一エリアのみで観光を終えるルートで占められている。

発地ブロック別では、四国ブロック（表 3-1-2-1）は、単一エリアのみで観光を終えるルートが多くなっている。広範囲に移動するルートでは「高知市」と「物部川」を含むルートが多くなっている。

近畿ブロック（表 3-1-3-1）と中国ブロック（表 3-1-4-1）は、「高知市」のみのルートが最も多く、「幡多」のみが 2 位となっている。広範囲に移動するルートでは、四国ブロックと同様に、「高知市」と「物部川」を含むルートが上位になっている。

関東ブロック（表 3-1-5-1）とその他ブロック（表 3-1-6-1）は、近畿ブロックなどと同様に「高知市」のみが最も多く、「幡多」のみが 2 位となっている。広範囲に移動するルートで、「高知市」と「幡多」を含むルートが上位になっているのが特徴である。

県内旅行者（表 3-1-7-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが大半を占めているのが特徴で、「高知市」のみが 1 位を占めた他のブロックと異なり、「東部」のみが 1 位となっている。

旅行形態別で傾向をみると、家族旅行（表 3-2-1-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが「東部」、「高知市」、「物部川」、「幡多」、「仁淀川」の順で上位 5 位を占めている。「東部」は全体平均を大きく上回っており、「物部川」の割合も多くなっている。

友人・知人との旅行（表 3-2-2-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが「高知市」、「東部」、「幡多」、「物部川」、「高幡」の順で上位 5 位を占めている。また、全体平均と比べ、「東部」のみの割合が多くなっている。

団体旅行（表 3-2-3-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが「高知市」、「東部」、「幡多」、「高幡」、「物部川」の順で上位 5 位を占めている。また、全体平均と比べ、「高幡」のみの割合が多くなっている。

一人旅（表 3-2-4-1）は、単一エリアで観光を終えるルートが「幡多」、「高知市」、「仁淀川」、「東部」、「高幡」、「物部川」の順で上位 6 位を占めている。「幡多」は全体平均を大きく上回り、また、広範囲に移動するルートが目立って少なくなっている。

3-1. 発地別周遊ルート

3-1-1. 県外旅行者全体

県外旅行者 2,869 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-1-1)周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					489	17.0%
幡多					326	11.4%
物部川					238	8.3%
東部					216	7.5%
物部川	→	高知市			171	6.0%
高知市	→	物部川			159	5.5%
高知市	→	幡多			95	3.3%
高幡					93	3.2%
高知市	→	東部			80	2.8%
幡多	→	高知市			78	2.7%

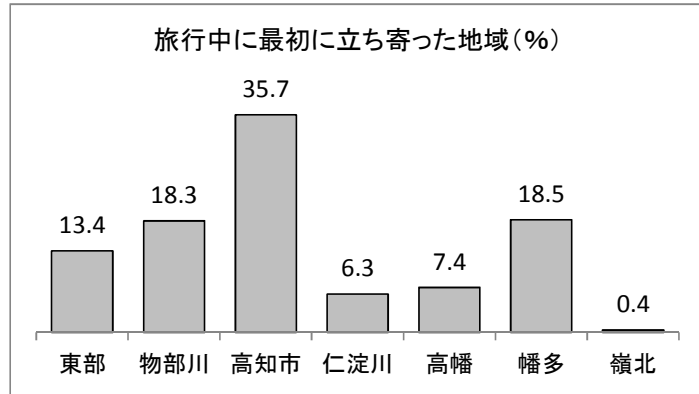
・上位を占めた周遊ルート

県外旅行者 2,869 組の周遊ルートを見ると、単一エリア内で観光を終える周遊ルートが上位 4 位を占めている。

多い順で周遊ルートを見ていくと、「高知市」を訪問し、他エリアへの立寄りがない旅行者が 489 組 (17.0%) で最も多く、「幡多」のみが 326 組 (11.4%)、「物部川」のみが 238 組 (8.3%)、「東部」のみが 216 組 (7.5%) と続く。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄ったエリアは、「高知市」が最も多く1,024組(35.7%)、次いで「幡多」532組(18.5%)、「物部川」524組(18.3%)、「東部」384組(13.4%)、「高幡」212組(7.4%)、「仁淀川」182組(6.3%)、「嶺北」11組(0.4%)となっている。

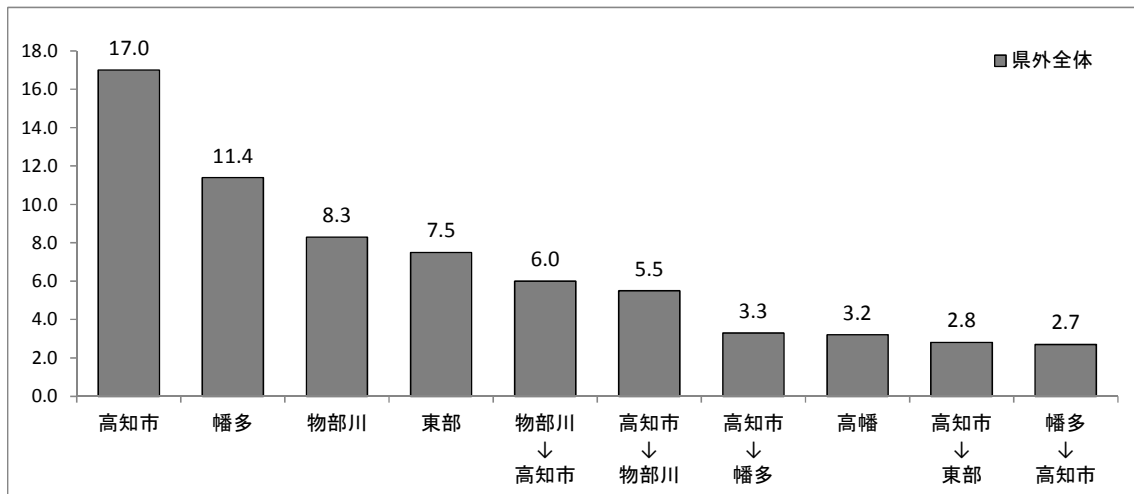


・周遊ルートの傾向

他エリアへの移動を伴う周遊ルートに限って上位をみると、「物部川」から「高知市」の6.0%、「高知市」から「物部川」の5.5%、「高知市」から「幡多」の3.3%、などとなっている(図3-1-1-2)。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの場合、「高知市」を含むということが、傾向として表れている。

(図3-1-1-2) 主な周遊ルート割合 (%) [上位10位まで]



3-1-2. 四国

高知県をのぞく四国3県からの旅行者1,066組の周遊ルートの上位10位は以下の通りになっている。

(表 3-1-2-1) 発地別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	147	13.8%
物部川	143	13.4%
幡多	142	13.3%
東部	113	10.6%
物部川 → 高知市	68	6.4%
高知市 → 物部川	64	6.0%
高幡	53	5.0%
仁淀川	34	3.2%
高幡 → 幡多	25	2.3%
東部 → 高知市	22	2.1%

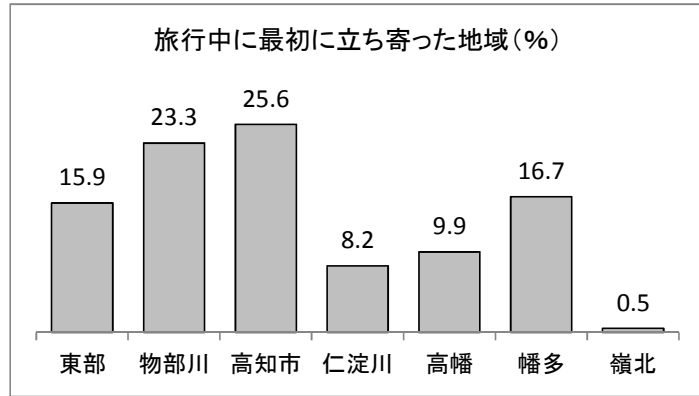
・上位を占めた周遊ルート

四国3県の旅行者1,066組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終えた旅行者が147組(13.8%)と最も多く、次いで「物部川」のみが143組(13.4%)、「幡多」のみが142組(13.3%)、「東部」のみが113組(10.6%)となっている。このように、上位4位までを単一エリアのみで観光を終える周遊ルートが占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの上位を見ると、「物部川」から「高知市」の68組(6.4%)、「高知市」から「物部川」の64組(6.0%)、などとなっている。

・周遊ルート of 玄関口

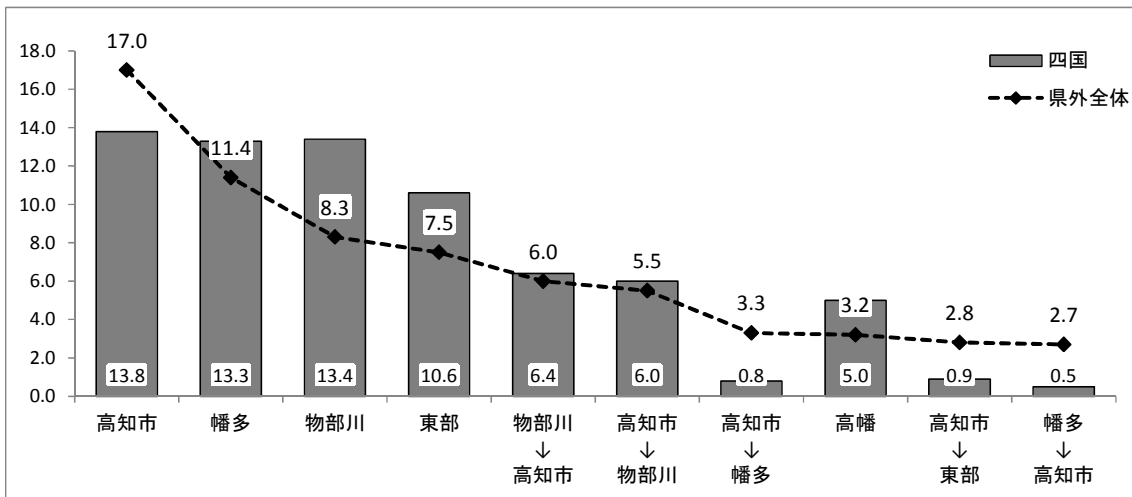
旅行中に最初に立ち寄った周遊エリアは、「高知市」が最も多く 273 組 (25.6%)、次いで「物部川」248 組 (23.3%)、「幡多」178 組 (16.7%)、「東部」169 組 (15.9%)、「高幡」106 組 (9.9%)、「仁淀川」87 組 (8.2%)、「嶺北」5 組 (0.5%) となっている。



・周遊ルートの傾向

他のブロックや県外全体と比べ、「高知市」を含む周遊ルートの割合が少なくなっている。特に、県外全体では最も多い「高知市」のみで観光を終えた割合は 3.2 ポイント少ない 13.8% となった。「高知市」から「幡多」へのルートと、その逆のルート、また、「高知市」から「安芸」へのルートも少なくなっている。一方で、「幡多」や「物部川」、「東部」のみで観光を終えた割合は県外全体よりも多くなっている (図 3-1-2-2)。

(図 3-1-2-2) 主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-3. 近畿

近畿ブロックからの旅行者 669 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-3-1) 発地別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	110	16.4%
幡多	65	9.7%
東部	56	8.4%
物部川	41	6.1%
物部川 → 高知市	38	5.7%
高知市 → 物部川	35	5.2%
高知市 → 東部	32	4.8%
高知市 → 幡多	31	4.6%
幡多 → 高知市	15	2.2%
高知市 → 物部川 → 東部	15	2.2%

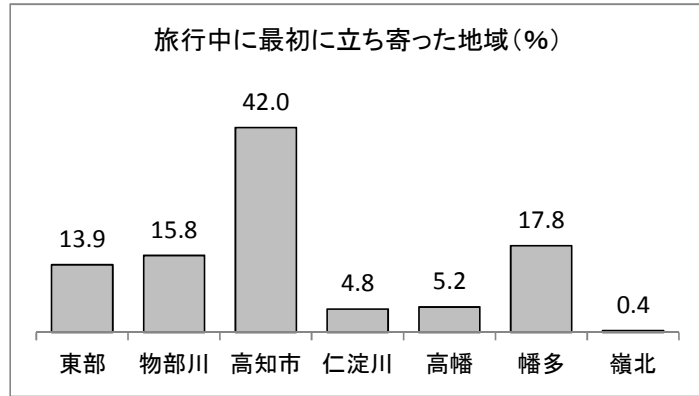
・上位を占めた周遊ルート

近畿ブロックからの旅行者 669 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみを訪問した旅行者が 110 組 (16.4%) と最も多く、次いで「幡多」のみが 65 組 (9.7%)、「安芸」のみが 56 組 (8.4%)、「物部川」のみが 41 組 (6.1%)、となっている。四国ブロック同様、上位 4 位まで単一エリアのみで観光を終える周遊ルートとなっている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの上位は、「物部川」から「高知市」の 38 組 (5.7%)、「高知市」から「物部川」の 35 組 (5.2%)、「高知市」から「安芸」の 32 組 (4.8%)、「高知市」から「幡多」の 31 組 (4.6%)、「幡多」から「高知市」の 15 組 (2.2%) などとなっている。また、「高知市」から「物部川」を経て、さらに「安芸」へと周遊した旅行者が 15 組 (2.2%) となっている。

・周遊ルート of 玄関口

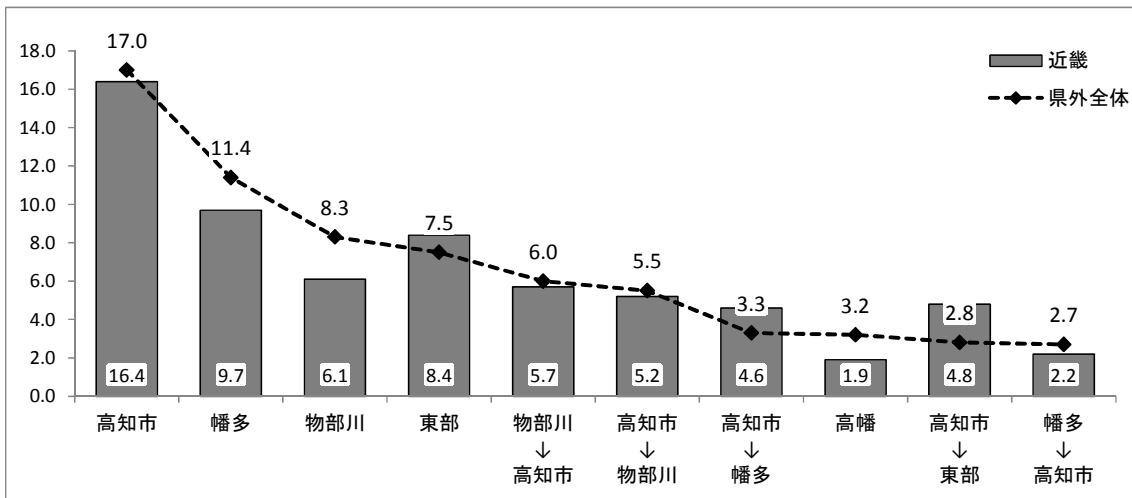
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 281 組 (42.0%)、次いで「幡多」119 組 (17.8%)、「物部川」106 組 (15.8%)、「東部」93 組 (13.9%)、「高幡」35 組 (5.2%)、「仁淀川」32 組 (4.8%)、「嶺北」3 組 (0.4%) となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」を含む周遊ルートの割合が多くなっている。また、「安芸」のみや、「高知市」から「東部」へと周遊した旅行者が多くなっている。その一方で、「幡多」、「物部川」、「高幡」のみで観光を終えた割合は県外全体よりも少なくなっている (図 3-1-3-2)。

(図 3-1-3-2) 主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-4. 中国

中国ブロックからの旅行者 446 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-4-1) 発地別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

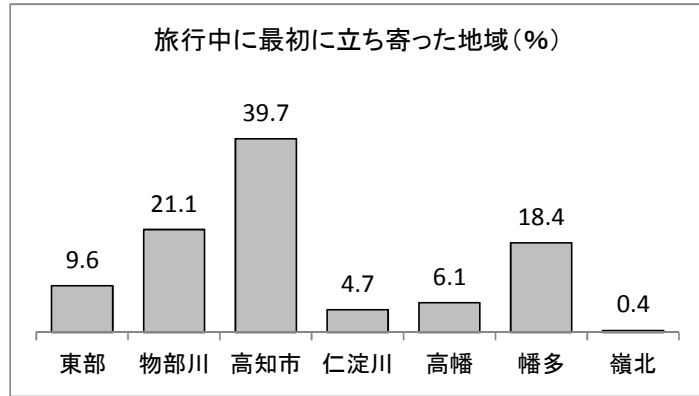
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					88	19.7%
幡多					52	11.7%
物部川	→	高知市			40	9.0%
物部川					32	7.2%
高知市	→	物部川			30	6.7%
東部					22	4.9%
高知市	→	東部			15	3.4%
高知市	→	幡多			14	3.1%
高知市	→	物部川	→	高知市	11	2.5%
高幡	→	幡多			11	2.5%

・上位を占めた周遊ルート

中国ブロックからの旅行者 446 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終えた旅行者が 88 組 (19.7%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のみが 52 組 (11.7%)、「物部川」から「高知市」のルートが 40 組 (9.0%)、「物部川」のみが 32 組 (7.2%)、「高知市」から「物部川」のルートが 30 組 (6.7%)、「東部」のみが 22 組 (4.9%) などとなっている。

・周遊ルート of 玄関口

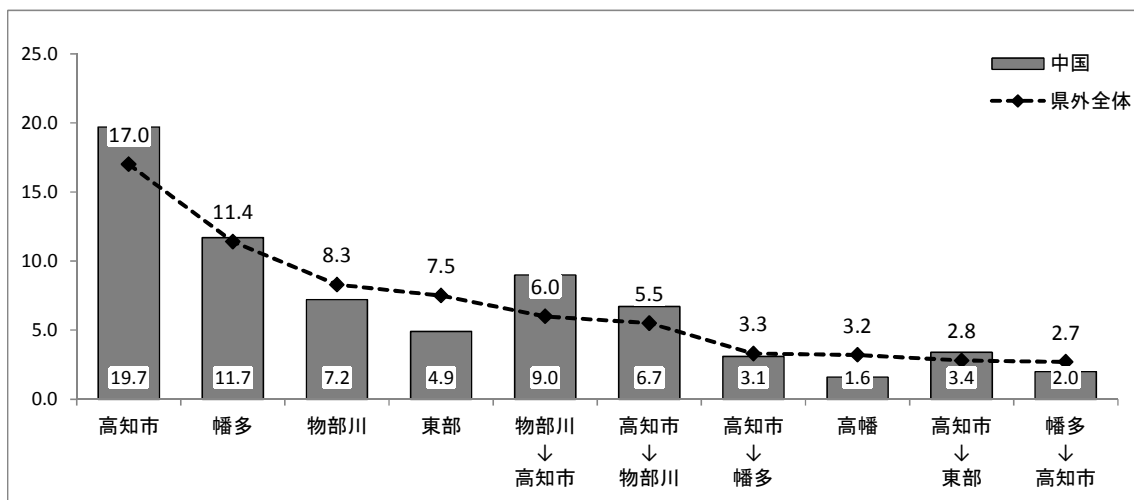
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 177 組 (39.7%)、次いで「物部川」の 94 組 (21.1%)、「幡多」の 82 組 (18.4%)、「東部」の 43 組 (9.6%)、「高幡」の 27 組 (6.1%)、「仁淀川」の 21 組 (4.7%)、「嶺北」2 組 (0.4%) となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみ「物部川」から「高知市」とその逆ルートの割合が多くなっている (図 3-1-4-2)。

(図 3-1-4-2) 主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-5. 関東

関東ブロックからの旅行者 368 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-1-5-1) 発地別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

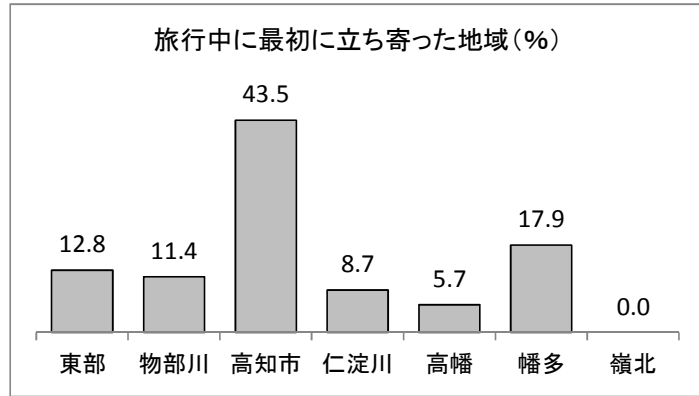
周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					75	20.4%
幡多					24	6.5%
高知市	→	幡多			24	6.5%
幡多	→	高知市			23	6.3%
高知市	→	物部川			18	4.9%
仁淀川					15	4.1%
東部					14	3.8%
東部	→	高知市			14	3.8%
物部川	→	高知市			11	3.0%
仁淀川	→	高知市			11	3.0%

・上位を占めた周遊ルート

関東ブロックからの旅行者 368 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終えた旅行者が 75 組 (20.4%) と最も多くなっている。次いで「幡多」のルートが 24 組 (6.5%)、「高知市」から「幡多」のルートが 24 組 (6.5%)、「幡多」から「高知市」のルートが 23 組 (6.3%)、「高知市」から「物部川」のルートが 18 組 (4.9%)、「仁淀川」のみが 15 組 (4.1%) などとなっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 160 組 (43.5%)、次いで「幡多」の 66 組 (17.9%)、「東部」の 47 組 (12.8%)、「物部川」の 42 組 (11.4%)、「仁淀川」の 32 組 (8.7%)、「高幡」の 21 組 (5.7%) となっている。

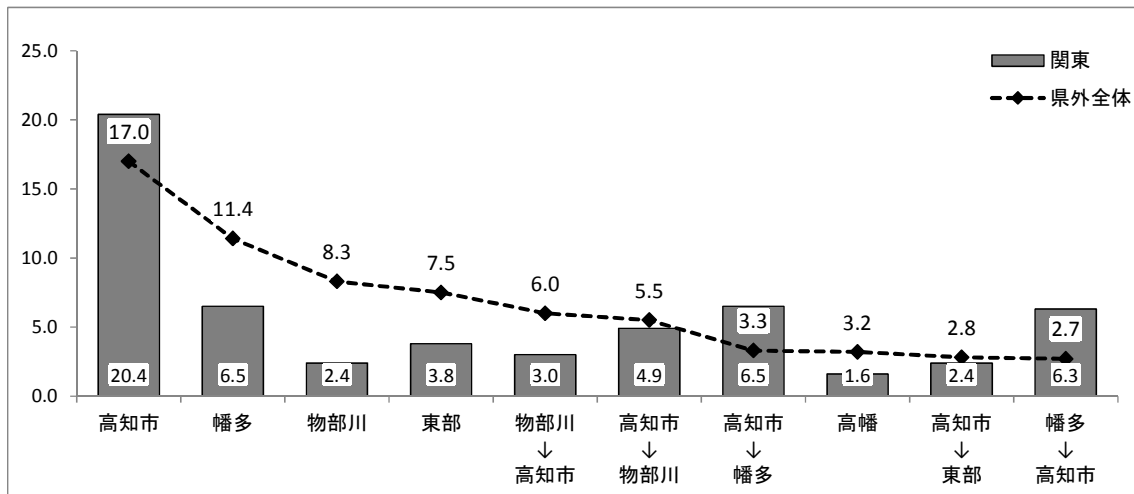


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみ「高知市」から「幡多」とその逆ルートの割合が多くなっている。その一方で、「高知市」以外の単一エリアのみで観光を終えた割合は県外全体よりも少なくなっている (図 3-1-5-2)。

周遊ルートの上位を「高知市」と「幡多」を含むルートで占めていることから、高知県観光の中心が「高知市」と「幡多」になっていることが分かる。

(図 3-1-5-2) 主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-6. その他(北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外)

その他5ブロックからの旅行者320組の周遊ルートの上位10位は以下の通りになっている。

(表 3-1-6-1) 発地別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

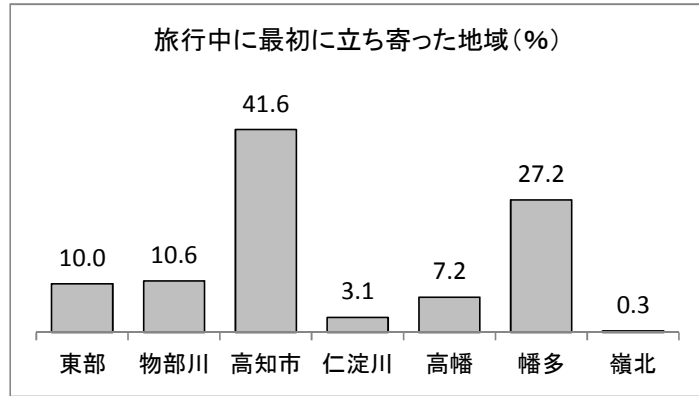
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	69	21.6%
幡多	43	13.4%
幡多 → 高知市	26	8.1%
高知市 → 幡多	17	5.3%
物部川 → 高知市	14	4.4%
高知市 → 東部	14	4.4%
高幡	14	4.4%
物部川	13	4.1%
高知市 → 物部川	12	3.8%
東部	11	3.4%

・上位を占めた周遊ルート

その他5ブロックからの旅行者320組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで旅行を終えた旅行者が69組(21.6%)と最も多く、次いで「幡多」のみが43組(13.4%)、「幡多」から「高知市」のルートが26組(8.1%)、「高知市」から「幡多」のルートが17組(5.3%)などとなっている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 133 組 (41.6%)、次いで「幡多」の 87 組 (27.2%)、「物部川」の 34 組 (10.6%)、「東部」の 32 組 (10.0%)、「高幡」の 23 組 (7.2%)、「仁淀川」の 10 組 (3.1%)、「嶺北」の 1 組 (0.3%) となっている。

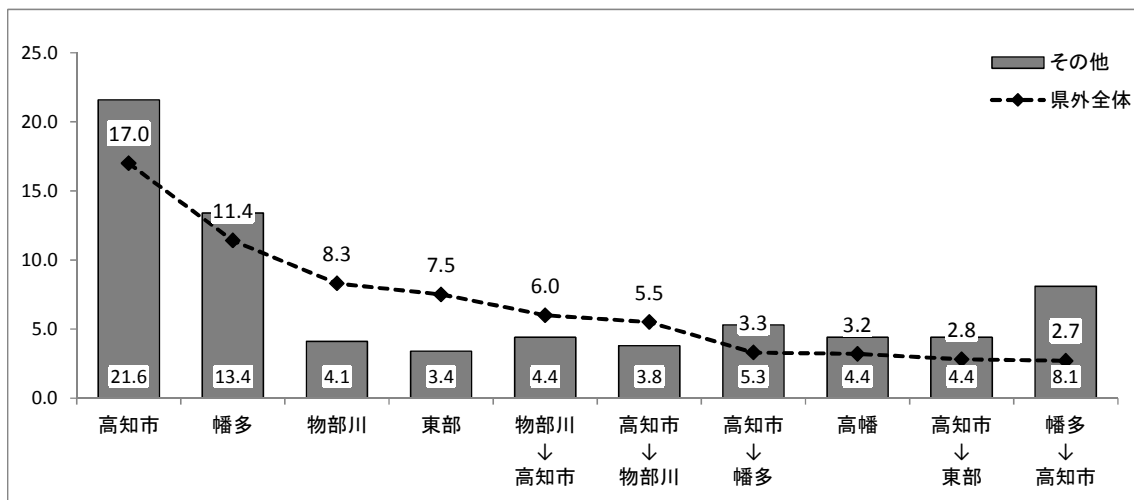


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみ、「幡多」のみ、「高知市」から「幡多」とその逆ルートの割合が多くなっている (図 3-1-6-2)。

関東ブロックと同様に、高知県観光の中心が「高知市」と「幡多」になっていることが分かる。

(図 3-1-6-2) 主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-7. 高知県

高知県からの旅行者 1,131 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになった。

(表 3-1-7-1) 発地別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

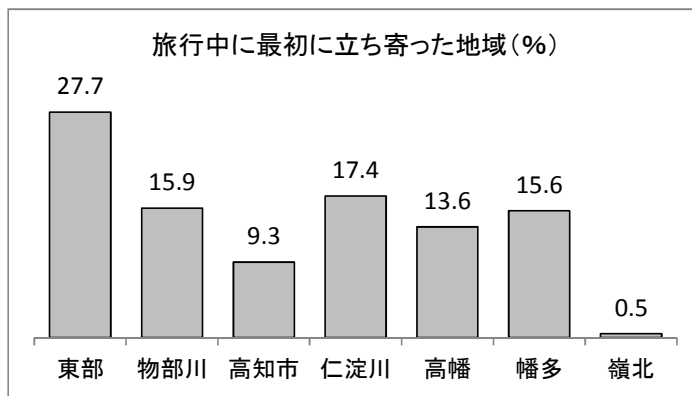
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
東部	288	25.5%
仁淀川	165	14.6%
物部川	158	14.0%
幡多	157	13.9%
高幡	111	9.8%
高知市	85	7.5%
高幡 → 幡多	25	2.2%
仁淀川 → 高幡	16	1.4%
東部 → 物部川	16	1.4%
高幡 → 仁淀川	16	1.4%

・上位を占めた周遊ルート

県内旅行者 1,131 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで旅行を終えた旅行者が 288 組 (25.5%) と最も多くなっている。次いで「仁淀川」のみが 165 組 (14.6%)、「物部川」のみが 158 組 (14.0%)、「幡多」のみが 157 組 (13.9%)、「高幡」のみが 111 組 (9.8%)、「高知市」のみが 85 組 (7.5%) と、単一エリアのみで観光を終える周遊ルートが上位 6 位を占めている。

・周遊ルート of 玄関口

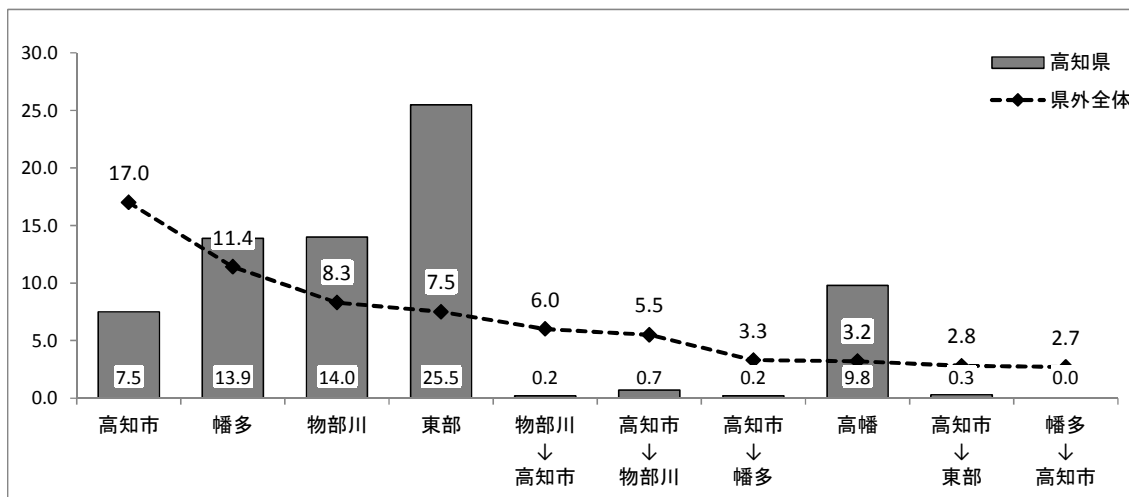
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「安芸」が最も多く 313 組 (27.7%)、次いで「仁淀川」の 197 組 (17.4%)、「物部川」の 180 組 (15.9%)、「幡多」の 176 組 (15.6%)、「高幡」の 154 組 (13.6%)、「高知市」の 105 組 (9.3%)、「嶺北」の 6 組 (0.5%) となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみで観光を終える割合が目立って少なくなっている一方で、「高知市」以外の単一エリアのみで観光を終える割合が多くなっている。特に、「安芸」のみの割合が、全体平均を大きく上回っている (図 3-1-7-2)。

(図 3-1-7-2) 主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2. 旅行形態別周遊ルート

3-2-1. 家族

家族旅行 2,563 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-1-1) 旅行形態別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
東部					355	13.9%
高知市					329	12.8%
物部川					313	12.2%
幡多					290	11.3%
仁淀川					151	5.9%
物部川	→	高知市			135	5.3%
高幡					117	4.6%
高知市	→	物部川			112	4.4%
高知市	→	東部			50	2.0%
高知市	→	幡多			48	1.9%

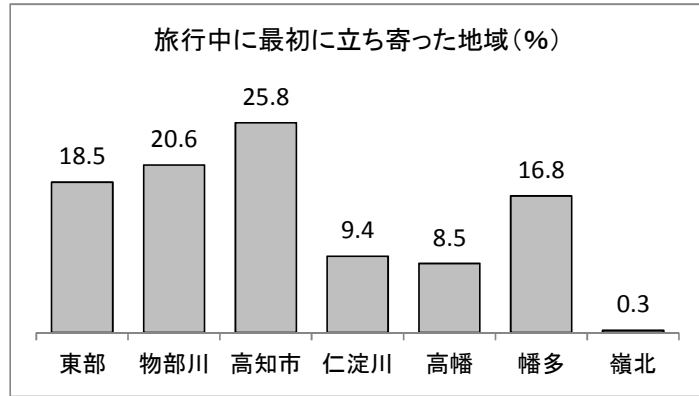
・上位を占めた周遊ルート

家族旅行 2,563 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終えた旅行者が 355 組 (13.9%) と最も多くなっている。次いで「高知市」のみが 329 組 (12.8%)、「物部川」のみが 313 組 (12.2%)、「幡多」のみが 290 組 (11.3%)、「仁淀川」のみが 151 組 (5.9%) などと単一エリアのみで観光を終える周遊ルートが上位 5 位を占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川」から「高知市」の 135 組 (5.3%)、「高知市」から「物部川」の 112 組 (4.4%)、「高知市」から「東部」の 50 組 (2.0%)、「高知市」から「幡多」の 48 組 (1.9%) などとなっている。

・周遊ルート of 玄関口

旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 662 組 (25.8%)、次いで「物部川」の 529 組 (20.6%)、「東部」の 474 組 (18.5%)、「幡多」の 431 組 (16.8%)、「仁淀川」の 242 組 (9.4%)、「高幡」の 217 組 (8.5%)、「嶺北」の 8 組 (0.3%) となっている。

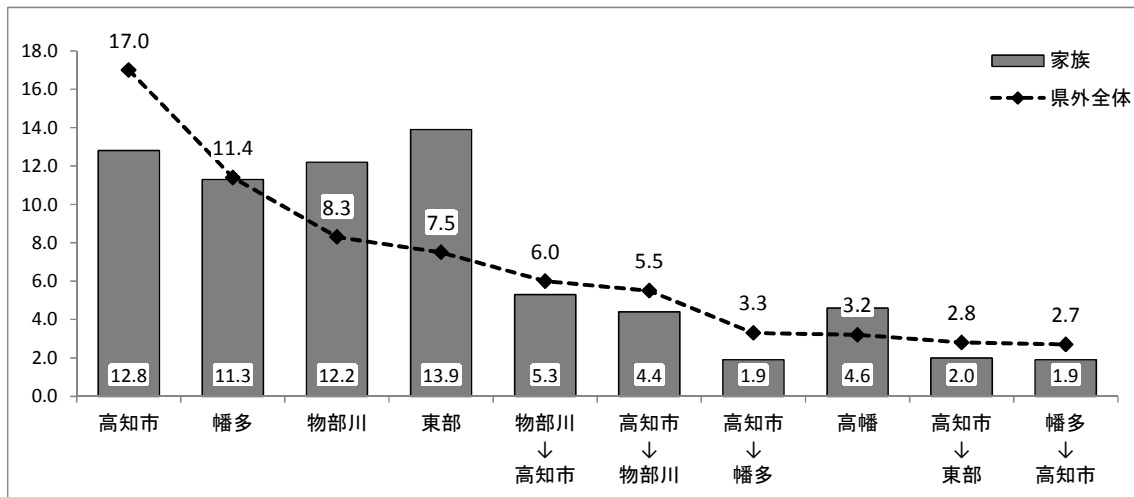


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみで観光を終える割合が少なく、「物部川」のみ、「東部」のみ、「高幡」のみの割合が多くなっている (図 3-2-1-2)。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートは、すべて全体平均を下回っており、単一のエリアを目的とした訪問が、家族旅行の人気を集めていることが分かる。

(図 3-2-1-2) 主な周遊ルート割合 (%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2-2. 友人・知人

友人・知人との旅行者 805 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-2-1) 旅行形態別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	131	16.3%
東部	94	11.7%
幡多	90	11.2%
物部川	54	6.7%
高幡	54	6.7%
高知市 → 物部川	38	4.7%
高知市 → 幡多	35	4.3%
仁淀川	31	3.9%
物部川 → 高知市	24	3.0%
幡多 → 高知市	22	2.7%

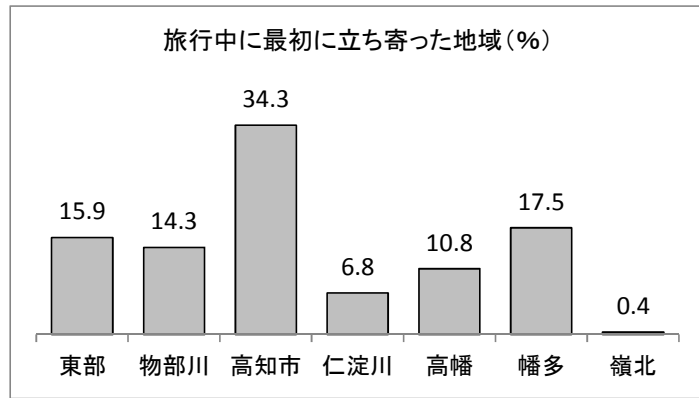
・上位を占めた周遊ルート

友人・知人との旅行者 805 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終えた旅行者が 131 組 (16.3%) と最も多くなっている。次いで「東部」のみが 94 組 (11.7%)、「幡多」のみが 90 組 (11.2%)、「物部川」のみと「高幡」のみが 54 組 (6.7%) など家族旅行と同様に、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位 5 位を占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市」から「物部川」の 38 組 (4.7%)、「高知市」から「幡多」の 35 組 (4.3%)、「物部川」から「高知市」の 24 組 (3.0%)、「幡多」から「高知市」の 22 組 (2.7%) などとなっている。

・周遊ルート of 玄関口

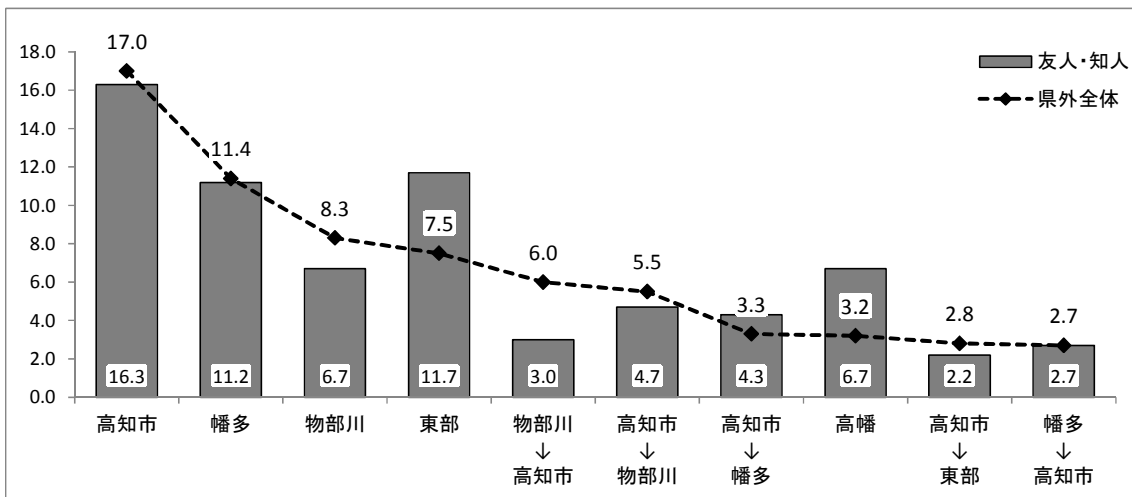
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 276 組 (34.3%)、次いで「幡多」の 141 組 (17.5%)、「東部」の 128 組 (15.9%)、「物部川」の 115 組 (14.3%)、「高幡」の 87 組 (10.8%)、「仁淀川」の 55 組 (6.8%)、「嶺北」の 3 組 (0.4%) となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「東部」のみと、「高幡」のみの割合が多くなっている。また、「物部川」を含む観光ルートは、全体平均を下回っている (図 3-2-2-2)。

(図 3-2-2-2) 主な周遊ルート割合 (%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2-3. 団体

団体旅行 95 組の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになっている。

(表 3-2-3-1) 旅行形態別周遊ルート (組・%) [周遊エリア3まで]

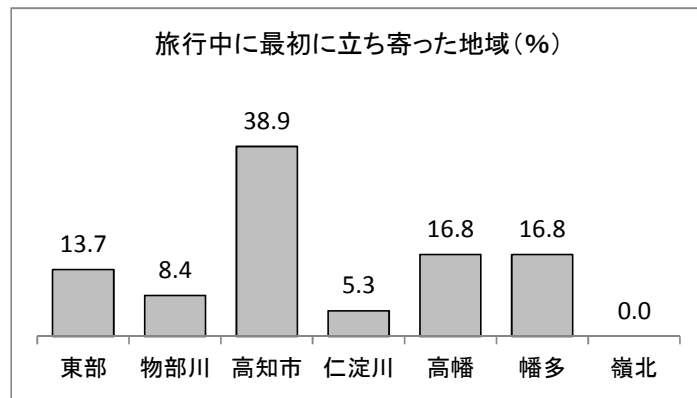
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	19	20.0%
東部	10	10.5%
幡多	10	10.5%
高幡	7	7.4%
物部川	5	5.3%
高知市 → 物部川	4	4.2%
高知市 → 幡多	3	3.2%
高知市 → 東部	3	3.2%
高幡 → 幡多	3	3.2%
(※対象多数のため略)	2	2.1%

・上位を占めた周遊ルート

団体旅行 95 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終えた団体旅行が 19 組 (20.0%) と最も多くなっている。次いで「東部」のみと「幡多」のみが 10 組 (10.5%)、「高幡」のみが 7 組 (7.4%)、「物部川」のみが 5 組 (5.3%) となっている。家族旅行、友人・知人同様、単一エリアのみで観光を終える周遊ルートが上位 5 位までを占めている。

・周遊ルート of 玄関口

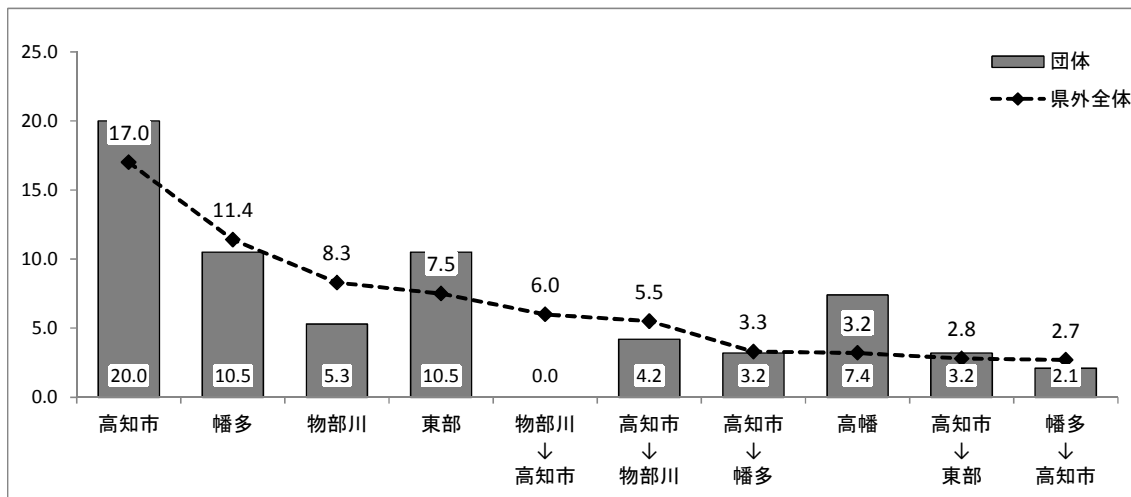
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が最も多く 37 組 (38.9%)、次いで「幡多」と「高幡」の 16 組 (16.8%)、「安芸」の 13 組 (13.7%)、「物部川」の 8 組 (8.4%)、「仁淀川」の 5 組 (5.3%) となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「高知市」のみと「東部」のみ、「高幡」のみの割合が多くなっている (図 3-2-3-2)。調査時も、桂浜の観光と高知市内での昼食の後、四国内の他県へ周遊するというツアー客が多かった。

(図 3-2-3-2) 主な周遊ルート割合 (%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2-4. 一人

一人旅の旅行者 407 人の周遊ルートの上位 10 位は以下の通りになった。

(表 3-2-4-1) 旅行形態別周遊ルート (人) [周遊エリア3まで]

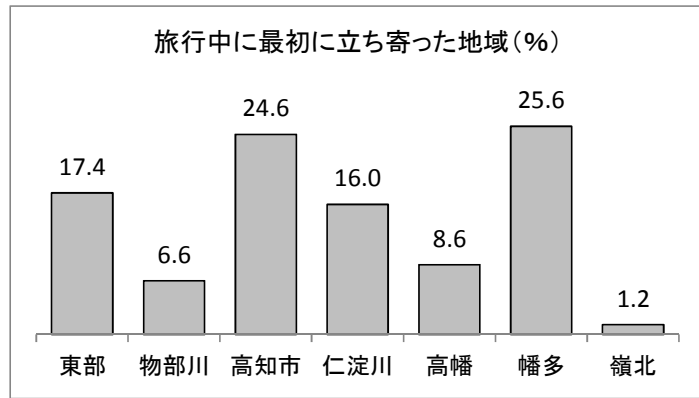
周遊1 → 周遊2 → 周遊3	人数	割合
幡多	84	20.6%
高知市	67	16.5%
仁淀川	51	12.5%
東部	38	9.3%
高幡	23	5.7%
物部川	13	3.2%
高知市 → 東部	9	2.2%
東部 → 高知市	9	2.2%
(※対象多数のため略)	6	1.5%

・上位を占めた周遊ルート

一人旅の旅行者 407 人の周遊ルートを見ると、「幡多」のみを訪問した旅行者が 84 人 (20.6%) と最も多くなっている。次いで「高知市」のみが 67 人 (16.5%)、「仁淀川」のみが 51 人 (12.5%)、「東部」のみが 38 人 (9.3%)、「高幡」のみが 23 人 (5.7%)、「物部川」のみが 13 人 (3.2%)、などとなっている。このように単一エリアのみで観光を終える周遊ルートが上位 6 位を占めている。

・周遊ルート of 玄関口

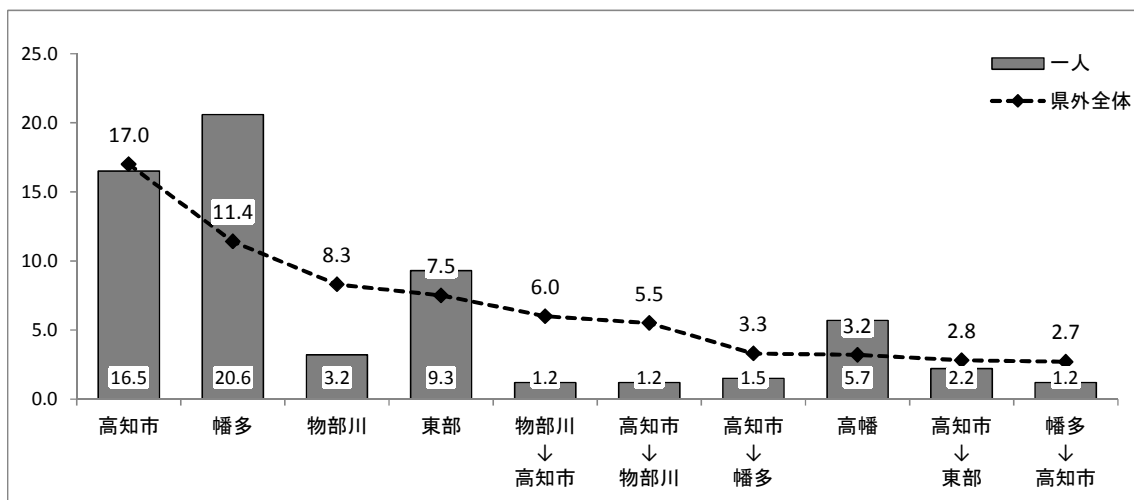
旅行中に最初に立ち寄った地域は、「幡多」が最も多く 104 人 (25.6%)、次いで「高知市」の 100 人 (24.6%)、「東部」71 人 (17.4%)、「仁淀川」65 人 (16.0%)、「高幡」35 人 (8.6%)、「物部川」27 人 (6.6%)、「嶺北」が 5 人 (1.2%) となっている。



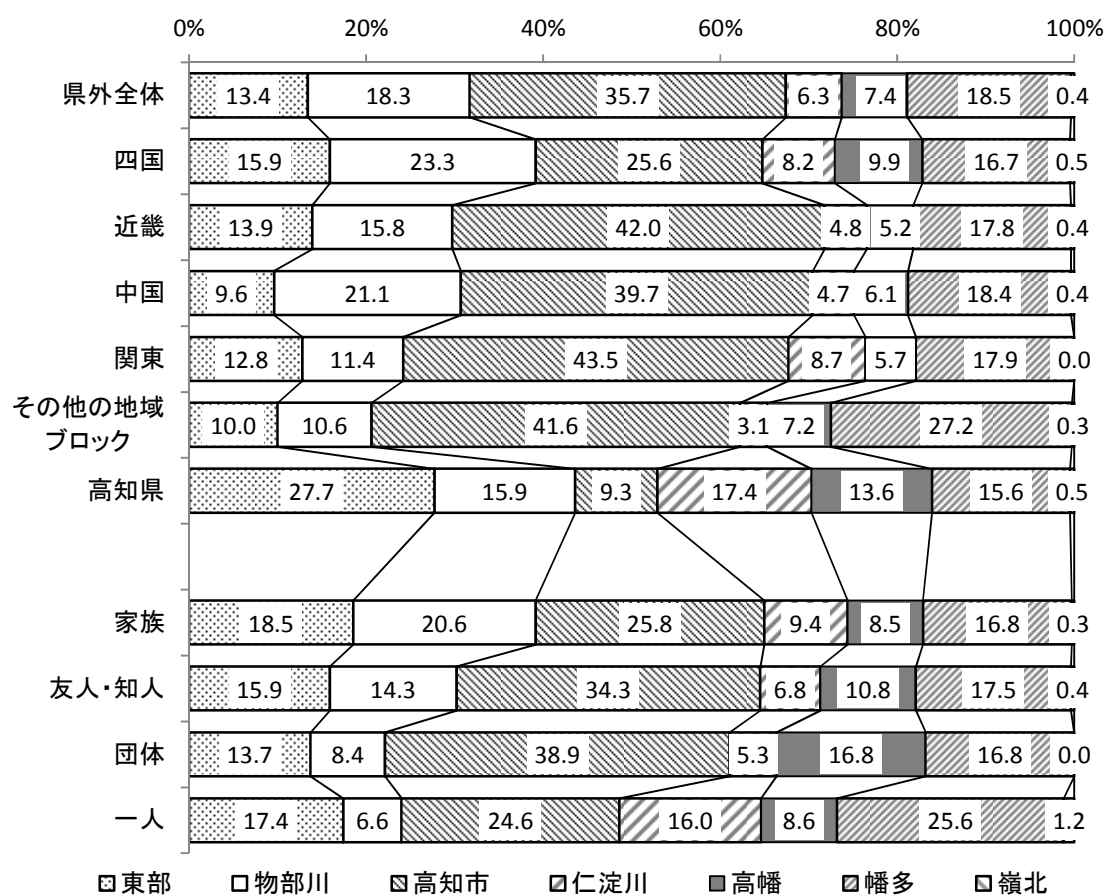
・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「幡多」のみ、「東部」のみ、「高幡」のみの割合が多くなっている。また、一人旅では、エリアを越える周遊ルートの割合が非常に少なくなっている (図 3-2-4-2)。

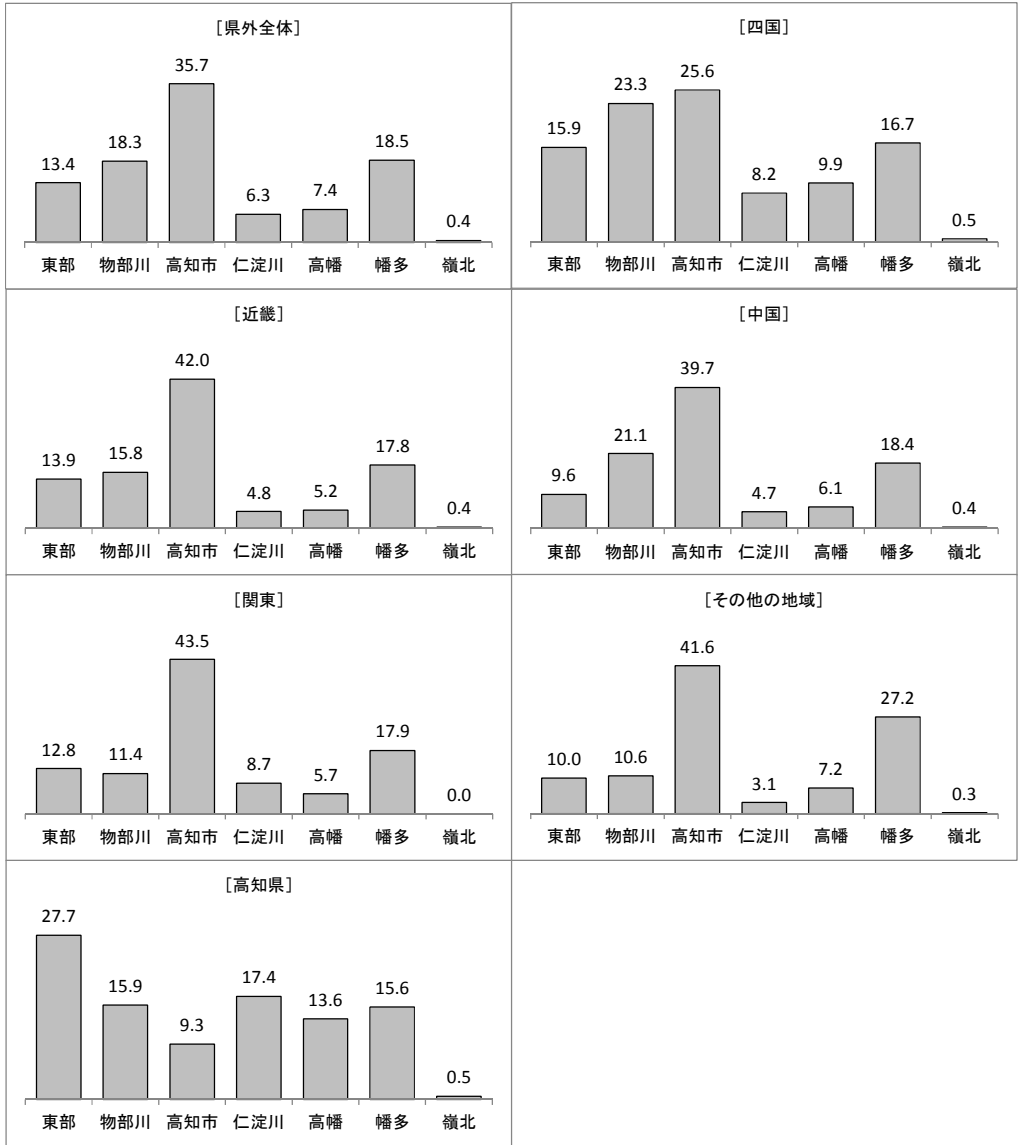
(図 3-2-4-2) 主な周遊ルート割合 (%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



(参考 1)発地ブロック別・旅行形態別旅行中で最初に立寄った地域(%)



(参考 2)旅行中に最初に立寄った地域－発地ブロック別－(%)



(参考 3)旅行中に最初に立寄った地域－旅行形態別－(%)

